



2000万署名で戦争法廃止へ

私の一言

漫画「フラジャイル 病理医岸京一郎の所見」(原作:草水敏、漫画:恵三朗)を知っていますか?長瀬智也主演でドラマ化もされています。性格と口と人相が悪い主人公の病理医の岸先生は、セカンドオピニオン外来もしています。

子供が病気になった母親が、セカンドオピニオンを求めてこられたのですが、現在の主治医とは別の診断結果が出ます。どちらを選んだらよいのか迷っている母親に、岸先生は「でもあなたは今自分の意思で選ばなくてはならない」「状況に流されないでください」「何を選べば失敗した時も胸を張っていられますか?」と問いかけます。

今「平和安全保障関連法」(戦争法)を今後どうするのか、私たち国民に問われています。主治医(政府 自民党・公明党など)は、安保法制は憲法違反していない、弾薬は武器ではないので輸送できると診断しています。セカンドオピニオンの医師(日本共産党などの野党 SEALs 多くの憲法学者 総がかり行動実行委員会など)は、明らかに憲法違反なので廃止すべきだと診断しています。

私たちは、今自分の意思で選ばなければならないのです。まだ迷っている方、疑問がある方は、2月

19日(金)に、憲法カフェがあります。「参加する」を選んで、一緒に楽しく学びましょう(漫画「フラジャイル」(1巻~5巻)を読みたい方はお貸しします)。

(高松協同病院管理室 清水彩子)



『何だかんだいって日本が戦争をすることはないだろう』これが『戦争を知らない』僕が率直に思うことだ。おそらく同世代の人であれば同じような事を考えていると思う。

なので、安保法案を強行採決したときの国会前のデモなどの様子をテレビで見ている、どこか違う時代の違う国の事のように感じた。ただ、漠然と戦争はいけない事であるとは思っている。

職業柄、戦争を経験した世代の方とリハビリをする機会が多い。リハビリ中に戦時中のことを話される患者様は、みなさん共通して「戦争はしたらいかん」と話される。

戦争を経験された方々が戦争はダメだと思っているのに、なぜ、戦争を知らない安倍総理は戦争をしようとするのか。何を考えているのかさっぱり分からない。

高松平和病院リハビリ科の大西部長から「戦争法について思うことを書いて」と笑顔で軽く依頼されて、何を書けば良いか悩んだ。その結果がこれであるが、この文章を書いていてただ思うことは、いつまでも『戦争を知らない』世代でありたいということ。

(高松平和病院リハビリテーション科 筒井貴典)

2/19(金)まで、2000万署名 ロングラン宣伝・署名行動実施中!

香川民医連も参加する香川革新懇では、2月10日から19日まで、丸亀町商店街ドーム広場を中心に2000万署名のロングラン宣伝・署名行動に取り組んでいます。

毎日約1時間の行動で、10、12日の2日間では約250筆の署名が集まりました。



12日は、丸亀町商店街ドームの他、香川医療生協の虹のバレンタイン行動として、田町マルナカ前交差点で宣伝・署名行動を実施